建築鉄骨構造技術支援協会「鉄骨技術フォーラム2023」

－鉄骨造建築物の構造設計・鉄骨製作等における疑問に答える－

**開催の趣旨**

　今年度のフォーラムもこれまでと同様、角形鋼管柱を用いた中小規模鉄骨造建築物を主な対象として、鋼材、構造設計、鉄骨製作、現場施工等における会員各位の日頃から抱える疑問点に当協会の関係者が回答し、更にそれらについて意見交換を行うことを考えております。フォーラムの詳細は以下の通りです。

　尚、今回のフォーラムでは昨年同様、より多くの方々にも情報提供ができるよう配慮し、WEB配信も併用することとしております。鉄骨構造物に関心をお持ちの多くの方々の参加をお待ちしております。　　　　　　　　　　　　　　　　　（一社）建築鉄骨構造技術支援協会　理事長　稲田達夫

**記**

主　催　（一社）建築鉄骨構造技術支援協会

後　援　（一社）東京構造設計事務所協会（ASDO）

日　時　2023年11月16日（木）　13：30～16：30（開場：13:00）

場　所　建築家会館ホール（渋谷区神宮前2-3-16、東京メトロ銀座線 外苑前駅より徒歩8分）

参加費　会員6,000 円、非会員8,000 円　※ASDO会員、全青会会員は当協会会員として扱います

　　　　（WEB配信希望の場合は、会員3,000円、非会員6,000円）

定　員　会場参加　50名程度、WEB配信　50名程度（いずれも申し込み順とします）

　　　　定員になり次第、申し込みを締め切ります。

**プログラム**

１．理事長挨拶

２．鉄骨造建築物の設計・鉄骨製作等における疑問に答える。

コーディネータ：　岡部純

回答者：　伊藤優、稲田達夫、千田光、護雅典、増田浩志、山内哲理

質問例を以下に示します。9月30日まで質問を受け付けます。

３．SASST調査研究委員会からの報告

４．意見交換会（懇親会）

会場：　「TO THE HURBS」 外苑本店(イタリアン)

定員：　60名程度（会費3000円、当日、現地にて徴収します。）

①高力ボルト本数変更対応について

②加工途中に付くクランプ傷の考え方

③ダイアフラムコーナーへの溶接について

④角度が付く仕口ﾌﾞﾗｹｯﾄの柱ｺｰﾅｰへと溶接

⑤亜鉛ﾒｯｷ後の高力ﾎﾞﾙﾄ摩擦接合面ｼｮｯﾄﾌﾞﾗｽﾄによる剥離について

⑥ガセットの回し溶接について

⑦設計図書について

⑧飛行機梁の段差が少ない場合について

⑨ロール対応が難しい場合について

⑩Ｈ形鋼柱におけるﾘﾌﾞ･ｽﾁﾌﾅPL厚の決定方法

⑪Ｈ形鋼の柱継手及び梁継手の統一化

⑫アンカーボルト位置と基礎配筋の標準化

⑬ロングスパン梁におけるキャンバー寸法について

⑭スパン調整について

鉄骨技術フォーラム2021参加申し込み書

申し込み先メールアドレス：　intatsuo@aol.com 　　　　 ※お一人ずつお申込み下さい。

以下の内容を明記し、上記アドレスにメールでお申し込み下さい。

お一人ずつでお申し込み下さい。

申し込み年月日：

氏名：

所属：

住所：

会員・非会員の種別：　会員・非会員

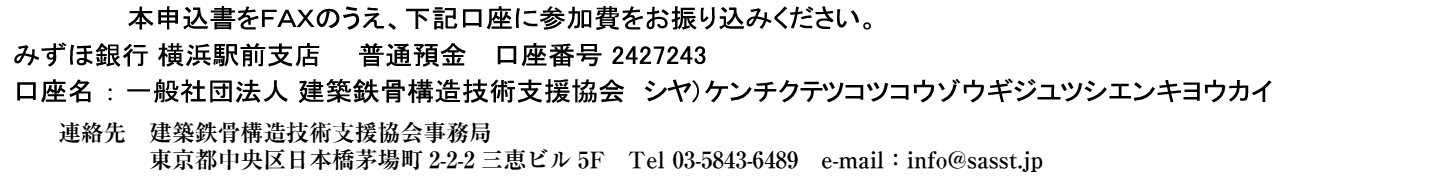
参加形態：　会場参加希望・WEB配信希望

意見交換会（懇親会）：　参加を希望する・希望しない

電話：

メールアドレス：

本申込書をメールするとともに、下記口座に参加費をお振込み下さい。

入金を確認しましたら、領収書と参加証をお送りします。